

ユーザー各位

IJCAD Arch / Arch+ 2020

バージョンアップ概要

2020年7月

インテリジャパン株式会社は、2020年7月1日に IJCAD Arch 2020 ならびに IJCAD Arch+ 2020 をリリースしました。本資料では、そのバージョンについての更新点をご案内いたします。

目次

機能の強化・改良点.....	2
[Arch / Arch+ 共通]	2
[Arch+]	5
不具合修正	6
[Arch / Arch+ 共通]	6
[Arch+]	9
既知の問題	10

画面は開発中のものにつき、製品とは異なる場合があります。

機能の強化・改良点

改良点については、汎用 IJCAD のバージョンアップ資料も合わせてご覧ください。

[Arch / Arch+ 共通]

1. 角形鋼材（U コラム、軽量角形鋼材）の鋼材リストを現行の建材に合わせて更新しました。
2. 鉄筋挿入（INSRC）コマンドについて下記の点を強化しました。
 - ① D32～D51 のサイズにも対応。
 - ② 鉄筋記号の形状を更新。新旧の差は下図の通りです。

鉄筋記号	IICA2020で形状変更							IICA2020で追加				
IICA 2019	●	×	○	●	○	○	○					
IICA 2020	●	×	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
呼び名	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	D35	D38	D41	D51

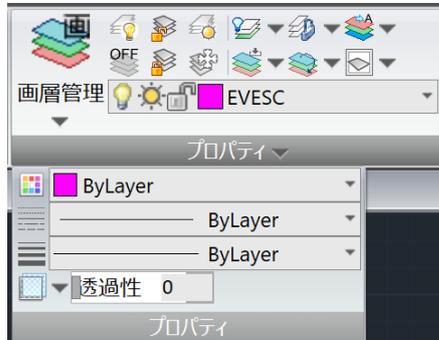
なお、D51 の記号については業界的な標準記号がないため独自形状を定義したものとされています。

3. インタフェースについて以下の点を改良しました。
 - ① アイコン高解像度対応と一部アイコンのデザインの変更。
 - ② ダイアログの高解像度化対応。
 - ③ メニューに配置されていなかった機能の追加や表示位置の調整。

リボンメニューの比較（上：IJCAD Arch+ 2019、下：IJCAD Arch+ 2020）

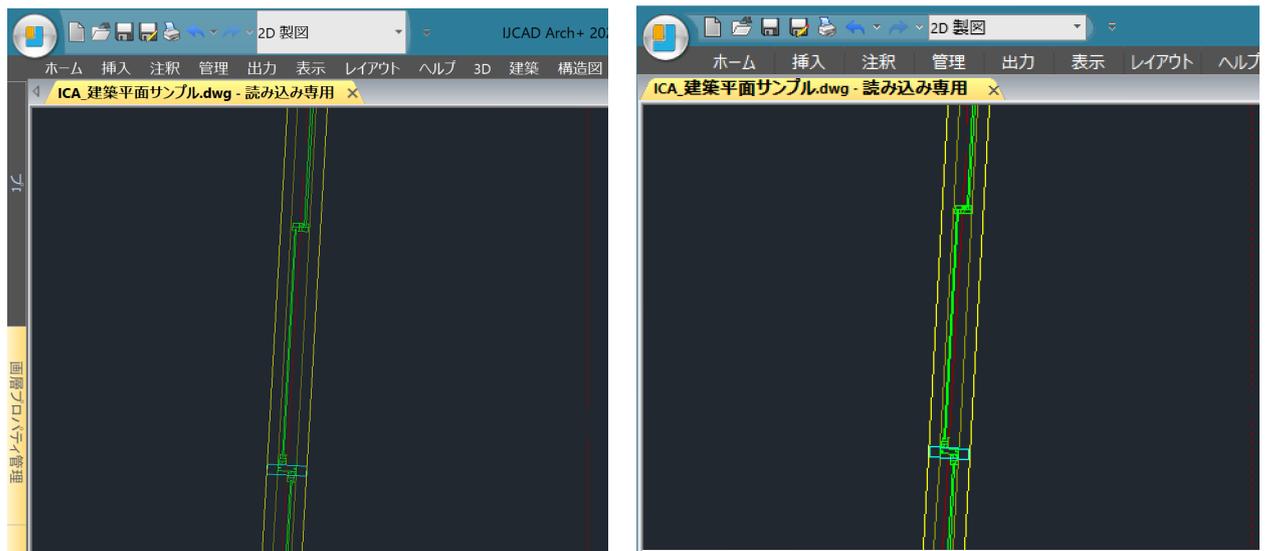


各アイコンの配置は大きく変わっていませんが、プロパティパネル部分については構成の変更が大きく変わっています。新しい構成は別途のインターフェース資料をご覧ください。



4. 高解像度の対応が強化されました。

高解像度の対応が進んだことで作図領域の図形がスッキリとした表示になります。

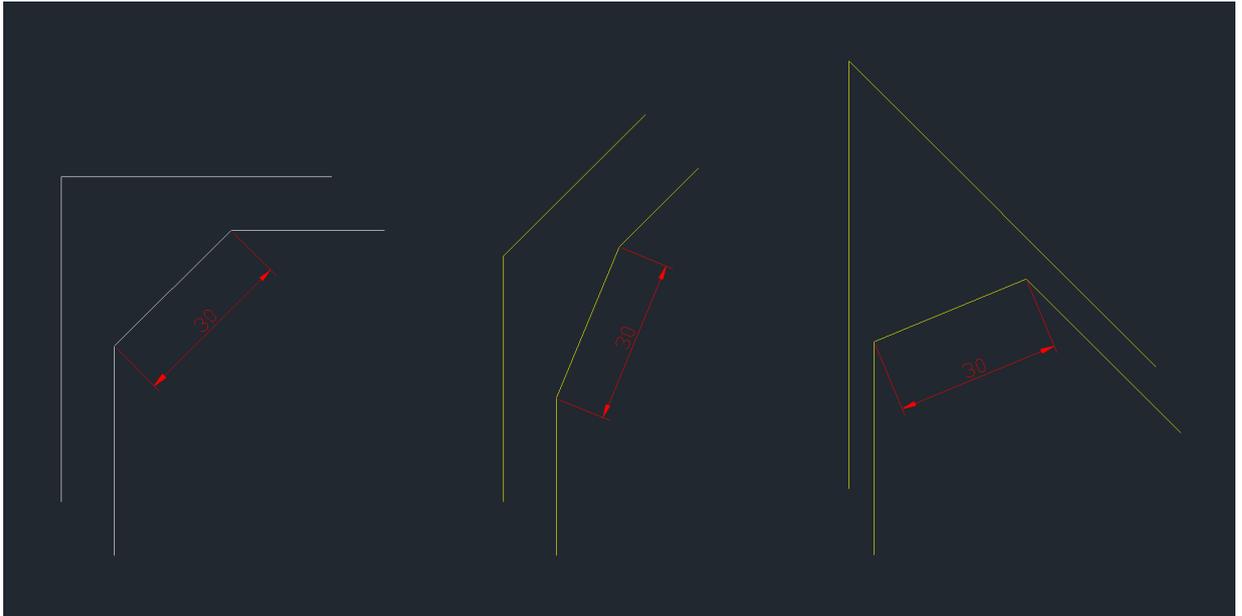


左=IJCAD Arch 2020、右= IJCAD Arch 2019

5. 車両軌跡、車両運行軌跡 のコマンドが一部改良されました。
車両データが別々に管理されていたものを CarTrack.csv へ 一本化しました。
(CarList.csv は廃止)。
6. 回転複写 (ROT_COPY) などいくつかの編集コマンドで、先に図形選択してあるものが利用できるようになりました。

7. 斜面巾設定面取り（_CHAMFER2）コマンドを強化しました。
- ポリラインも面取り可能になりました。
 - 面取りする2辺が90度になっている事を前提としたコマンドでしたが、直角以外の場合でも指定斜面幅で面取りすることが可能となりました。

黄色が IJCAD Arch 2020 で可能になったケース

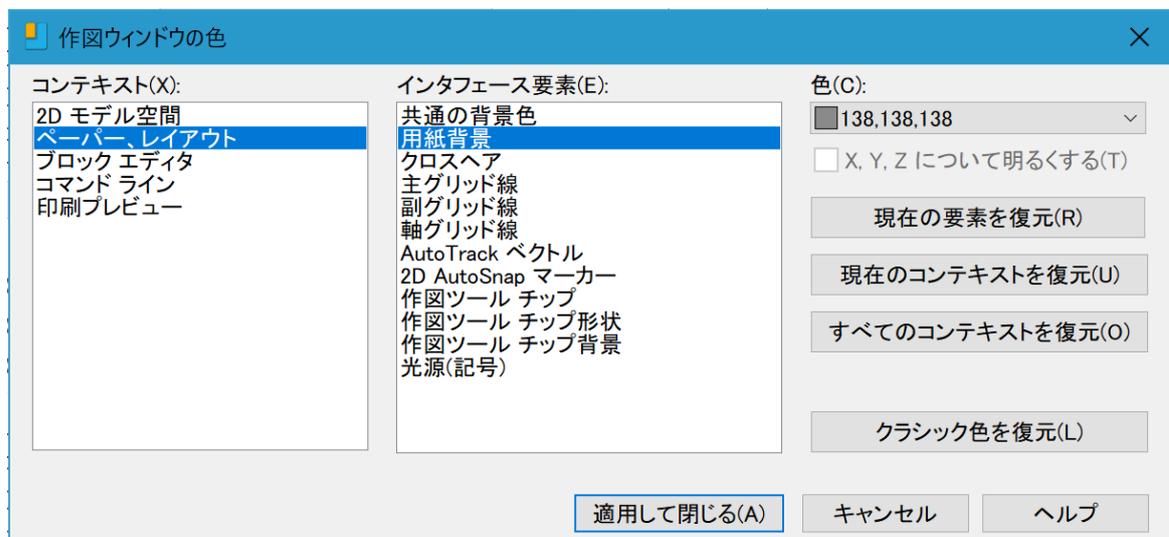


8. 文字記入に QR コードの作成コマンドを追加しました。
表題などの文字情報を記載して図面に配置することが出来ます。



※ コマンド自体は 前バージョンにも存在しています。

9. 矩形ポリライン（_BOX_PLINE）コマンドで作図方向を指示する際に、方向指示アイコンを利用できるようになりました。
10. IJCAD Arch の寸法スタイル変数で、寸法矢印の種類が標準の矢印リストより少なかった点を改良しました。
11. バージョン表示で Arch のバージョンも表記されるようになりました。
12. トリムコマンドにおける図形選択時の動作が、標準で交差選択になりました。
13. レイアウトの背景色を設定可能になりました。



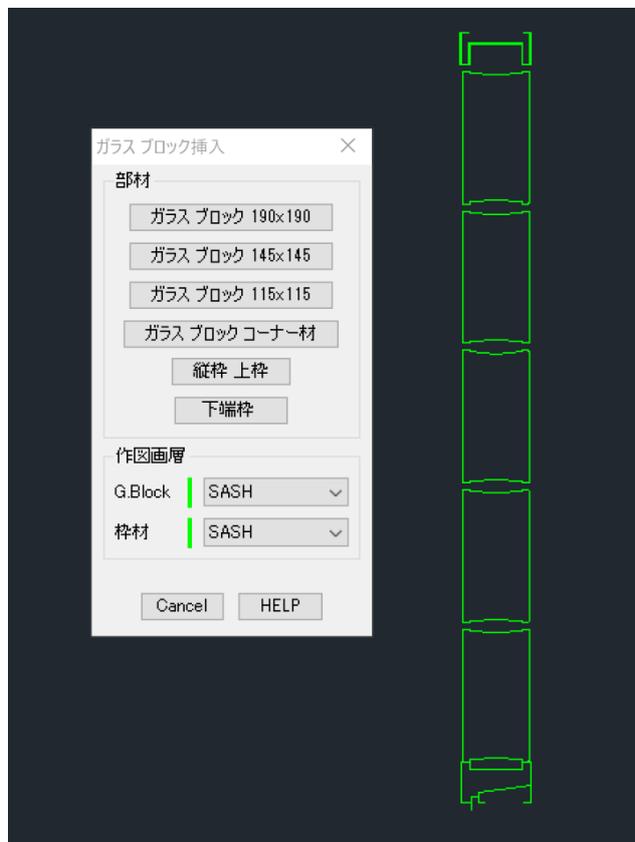
[Arch+]

1. 下記の画層系コマンドで読み込んだ設定ファイルのパスを表示するよう改良しました。
 - 電気設備ユーザ画層設定（_ULAYER2）
 - 電設用全画層作成（_MKELELYALL）
 - 機械設備ユーザ画層設定（_ULAYER3）

不具合修正

[Arch / Arch+ 共通]

1. 印刷でハッチングが背面に設定しているにもかかわらず、出力時に全面に表示されてしまう問題が修正されました。
2. 浴室・浴槽のシンボル挿入コマンドで、次ページ以降があるにもかかわらず「次頁」ボタンが無効状態で表示できなかった問題が修正されました。
3. IJCAD Arch の寸法スタイル変数が、寸法矢印の設定を変更すると機能しない問題が修正されました。
4. 建具記号 (SSMARK,SSMARK2) コマンドで、CAD 設定の状況により正常に動作しないケースがあった問題に対応しました。
5. レンガパターン (_TILING) コマンドで、455x910 のパターンが適切でないパターンになっていたために、塗り潰し状態で作図されていた動作が修正されました。
6. データ変換機能 (forJW、forIJCAD) が変換途中にエラーが発生していた問題が修正されました。
7. ガラスブロック(_GBLOCK)コマンドで動作しないプシオンがあった問題が修正されました。



- 初期設定(_PAGESETUP)コマンドで、O スナップの影響を受けて作図結果が意図しない状態になるケースがあった問題に対応しました。
- 車両軌跡、車両運行軌跡のコマンドで、車両データを編集・更新することが出来ない問題が修正されました。

車両データ登録

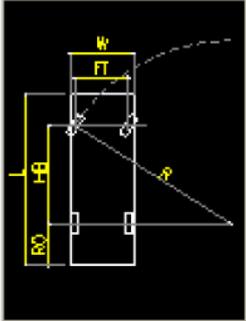
○新規登録 ●修正 ○削除

車両名称

基準ブロック名

車両諸元

全長		<input type="text" value="7625"/>
全幅	L	<input type="text" value="2200"/>
ホイルベース	W	<input type="text" value="4510"/>
最小回転半径	HB	<input type="text" value="6700"/>
フロントトレッド	R	<input type="text" value="2060"/>
リアオーバーハング	FT	<input type="text" value="1705"/>
	RO	<input type="text" value="1705"/>

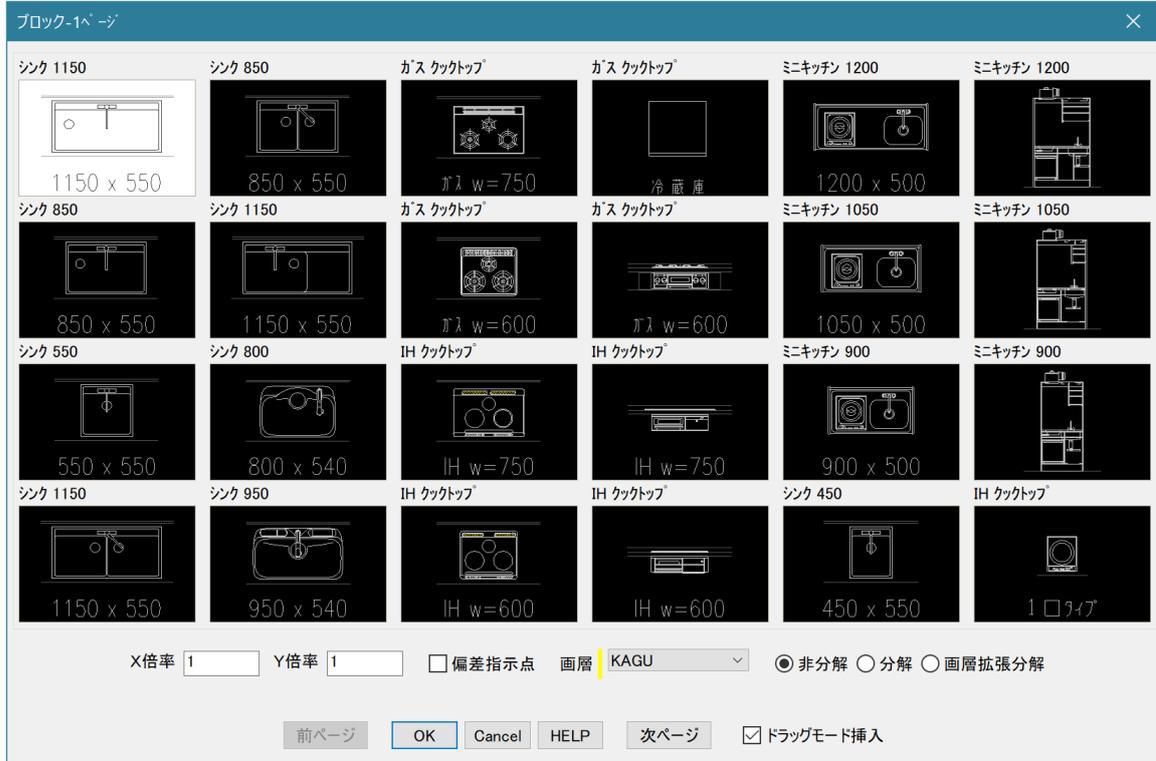


OK Cancel

- 領域斜求積 (_PLNAREA) コマンドを IJCAD Arch の「記号・作表」に割り当てられている画層が無い状態で使用したときに、CAD がフリーズする現象が修正されました。
- 作図領域の背景色を白など色番号 7 が黒表示になる明るい色にした際に、ダイアログのスライドが見えなくなる問題が修正されました。

表示例

(上図：IJCAD Arch 2020、下図：IJCAD Arch 2019)



[Arch+]

1. 電設用全画層作成 (_MKELELYALL) コマンドで、線種が正常に読み込めていなかった問題が修正されました。
2. 電気ダクト類作図で、ポリライン化されるはずのものがされていなかった問題が修正されました。
3. 電気の縦管作図 (_ELEUPDN) が動作しておらず、メニューにも登録されていなかった問題が修正されました。
4. 電気ユーザ画層設定 (_ULAYER2) と設備ユーザ画層設定 (_ULAYER3) のコマンドにおいて、初期フォルダ外へのファイル保存が出来ていなかった問題が修正されました。
5. 機械設備ツールバーに実装されていない「配管/ダクト分岐点」のアイコンが配置されていたため除去されました。
6. スパイラルダクト (_AIRSPLDCT) で、立ち上がり部分の作図ができなかった問題が修正されました。

既知の問題

IJCAD Arch 2020 または IJCAD Arch+ 2020 において、確認されている既知の問題は次のとおりです。既知の問題は、本バージョンで提供予定のサービスパックで改善されない可能性があります。

1. 一部の IJCAD 汎用コマンドでダイアログ表示されるもののうち、右側または下側の項目やボタンが部分的に見切れてしまうものがあります。（完全に見えない状態ではないため使用は可能です。）
2. 領域三斜求積コマンドで、500 以上の辺があるような大規模な点を有するポリラインを指定すると、図形の状況により三斜分割処理中にフリーズしてしまうことがあります。このような場合は、領域自体を分割するなどして複数回に分けて実行してください。
3. 作図領域の背景を明るい色にしている場合、一部ダイアログ表示されるイメージが塗りつぶし状態になり、判別しにくくなるものがあります。

<IJCAD に関するお問い合わせ窓口>

システムメトリックス株式会社

ウェブ : <https://www.ijcad.jp/>

電話 : 名古屋（本社）：052-219-8831 / 東京：03-3537-3282 / 神戸：078-599-8425